

上宮寺通信

第八十九号

午(馬)年に思う

新しい年が始まりました。今年
は午(馬)年になります。し
かも丙午(ひのえうま)。「丙午
生まれの女性は気性が激しい」
という迷信もあり、60年前には
出生数がかなり落ちました。い
まはそんな迷信を気にする人は
少ないと思いますが、少子化に
輪をかけることにならないよう
にと願っています。

さて、馬は生活に欠かせない
動物として昔はたいへん重宝さ
れていました。そのため馬にま
つわる「ことわざ」がたくさん
あります。そんな「ことわざ」
を用いながら今年の決意をあら
わしてまいります。

現代というのは余裕のない時
代といえます。

「今だけ、金だけ、自分だけ」
という言葉があるように、目先
の利益ばかりを追求し「自分さ
えよければいい」という考え
で、なんとか人を出し抜こうと
いう、まさに「生き馬の目を抜
く」生き方をしている人がたく
さんいます。

しかし、そんな生き方が本当
にいいのでしょうか。いつか「馬
脚を露わす」はずです。なぜな
ら、私たちはさまざま縁によ
って、お互いに助け合いつつ生
かされている存在だからです。
自分さえよければいいという生
き方が良いはありません。

人生では多くの人との出会い
があります。子どもの頃からの

「竹馬の友」もいますし、仕事
や遊びで「馬が合う」人たちが
たくさんいます。そんな人たち
はもちろんのこと、そのほかに
も多くの人の支えがあつて私た
ちは生きています。

人生は「人間万事塞翁が馬」
です。何が起るかわかりませ
ん。幸せばかりではないでしょ
う。不幸な出来事が起こること
もあります。そんなときこそ人
のつながりの大切さを実感する
ものです。そして、そのことを
通して私たちの人生がより豊か
になるきっかけになることもあ
ります。

親鸞聖人も教えてくださいま
す。念仏は「悪を転じて徳をな
す正智」である、と。

私たちに都合の悪いことも、
“これがあればこそ”と人生を

歩む糧に転じてくださる。まさ
に「老いたる馬は道を忘れず」
と多くの経験をした人こそ正し
い判断できるのです。そして、
その経験を次世代に伝えていく
責任が私たちにはあると思いま
す。

そのことを教えてくださるの
が念仏の教えです。決して「馬
の耳に念仏」や「馬耳東風」と
ならぬようにしっかりと聞法し
ていきたいと思えます。
今年もよろしく願ひいたし
ます。



◆行事案内

上宮寺の年間行事予定

3月7日(土)

春のお彼岸・永代経法要

法話：林 祥真師(一宮市禮讃寺)

※例年と日にちが違います。

8月13日(木)・14日(金)

お盆(盂蘭盆会) 法要

9月8日(火)

秋のお彼岸・永代経法要

法話：名和正真師(清須市久證寺)

11月8日(日)

報恩講

法話：伊奈祐諦師(西尾市安樂寺)

◆話題あれこれ

○上宮寺の年間行事予定を上
に挙げておきました。社会状
況の変化などで変更もしくは
中止にする場合もあります
が、どうかご予定いただきま
すようお願いいたします。ま
た、その他にも行事を企画し
ましたら、その都度ご案内い
たします。



○ホームページ、公式LINE
もよろしく願います。



ホームページ



公式 LINE

○年忌法要の予定がございま
したら早めにご連絡をいただきま
すようお願いいたします。

令和8年に年忌が当たる年の没
年は次の通りです。

一周忌(令和7年)
3回忌(令和6年)
7回忌(令和2年)
13回忌(平成26年)
17回忌(平成22年)
23回忌(平成16年)
27回忌(平成12年)
33回忌(平成6年)
37回忌(平成2年)
43回忌(昭和59年)
47回忌(昭和55年)
50回忌(昭和52年)
カッコ内が没年です。

○暖かい日があったり、寒い日
があったり寒暖差の激しい冬と
なっています。お気をつけてお
過ごしください。

【雑感】

ドラゴンズ好きの同級生たち
との忘年会で、かつて「スピー
ドガンの申し子」といわれた元
エースが経営している居酒屋へ
行く機会がありました。ご本人
も店におられ、ききくに話しか
けてくれて、世代的に一番印象
に残っている昭和57年の優勝
(当時中学二年生)の話題など
で大いに盛り上がりました。し
かし、最近の話になるとトーン
ダウン。いまの若い子たちは弱
いドラゴンズしか知りません。
若い子たちが将来、ドラゴンズ
の優勝話で盛り上がることで
きるように今年こそがんばって
ほしいです。
(住職記)

【発行】

真宗大谷派

上宮寺

昭和区白金二丁目十九番十五号

☎052-871-0547